



主張するセルフ・アドボケートたち

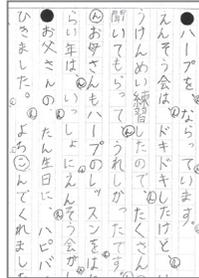
No.28

アドボケート (advocate) とは、障害者の権利擁護のための支援・擁護・代弁する人の意味。この企画では、当事者が自ら、自分の言葉で、今の生活についての思いを発信します。

2019年11月16日に行われた第2回日本ダウン症会議でのご本人発表の原稿全文をご紹介します。

「みんなに聞いてほしい わたしの楽しいこと」

愛媛県 藤原 宏行



読み上げた原稿の一部。母の妙子さんと一緒に考え、**ん**と入れたところは息継ぎ。**●**はスライドを次に送る印

みなさん、こんにちは。

えひめからきた 藤原宏行です。

わたしは、たのしみがいっぱいあります。ゲームやユーチューブを見るのが 好きです。

お習字



- 水曜日に、お習字をなっています。ふでで、字を書くのは、むづかしいけど、お習字が大好きです。お父さん、お母さんが、「きょうも、じょうずに書けるね。」と、いつもほめてくれます。もっと、もっとじょうずになりたいです。
- ハープをなっています。えんそう会は、ドキドキしたけど、いっしょうけんめい練習したので、たくさんの人に聞いてもらって、うれしかったです。お母さんもハープのレッスンはじめました。らい年は、いっしょにえんそう会がしたいです。
- お父さんの、誕生日に、ハピバスターをひきました。よろこんでくれました。



- ダウン症の仲間とダンスをしています。レッスンは、きびしいです。でもみんなとダンスをしたり、イベントに出るのは、たのしいです。
- こうべのイベントで、いろんなチームの仲間と、ダンスをしました。(動画)



ステージで動画に合わせてダンスを披露！

わたしは、仲間が、いっぱい、います。お母さんも、友達が、いっぱい、います。お母さんたちは、夏に、ひがさを作りました。みんなで楽しく作っていました。「わたしも作りたいなあ。」とお母さんに言いました。

「さいごまで、がんばるぞ」と、けっしんしました。

大好きな、嵐の松潤の、色の布を買いました。かたがみの、線を書くときは、うごかないように、しっかりおさえました。

大きいハサミで、布を切るときは、すこしきんちょうしました。「今日は、ここまで。続きはまた明日。」とお母さんがいいました。



●アイロンを使うときは、やけどをしないように、気をつけます。

布をとめるとき、針でゆびをさして、すこし血が出たけど、あきらめませんでした。

線の上をまっすぐぬうのは、かんたんでした。ゆっくりぬうので、大丈夫です。

高等部のときに、ミシンを習ったので、自信がありました。

ボタンをつけるのは、すこしむづかしかったです。

今度は、針でゆびを、ささないように気をつけました。

お母さんに、おしえてもらって、ひとりでがんばって わたしの ひがさができました。

お母さんが「さいごまで よくがんばったね」と、泣きました。いっぱいほめてくれたのでとても、うれしかったです。

●かわいいブローチも作りました。

●かぞくで、カラオケにも行きます。大きい声で、歌うと気持ちがいいです。

●歌のお兄さんになりたいので、いっぱい練習します。

好きなことをしているときは、楽しいです。

●●ゆめは、お母さんが、いっしょなくて、友達と、ごはんを食べに行ったり、あそびに行ったりしたいです。

●そして、おしごとをがんばって、ひとりぐらしがしたいです。



●せんたくをしたり、お米をあらったり、ひとりぐらしができるように、すこしづつ、練習をしています。

わたしの作った カレーは、おいしいですよ。これからも、いろんなことに チャレンジしたいです。

11月30日、嵐のコンサートが、あるので、また、東京にきます。 お♡わ♡り

「本人発表」に参加した感想

宏行さんの感想

ドキドキして、のどが痛かったです。たくさんの方が聞いてくれているのでさいごまでがんばりました。ハーブもひいたら、よかったと思いました。ありがとうございました。

母・妙子さんの感想

この原稿は、宏行と一緒に「楽しいこと」を箇条書きにし、できるだけ宏行の言葉のまま文章にしました。パソコンを操作しながら、詰まりそうなところ

には、自分で☺と書き込んで工夫し、何度も練習をしていました。動画の編集は、今回は友人に作成してもらいましたが、スマホではアプリを使いながら自分で編集しています。本番では、緊張していたにも関わらず、準備していた映像がうまく映らないアクシデントにもあわてることなく、最後までやり遂げた宏行が頼もしく、感動しました。これからも、いろんなことに楽しくチャレンジしてほしいと思います。応援してください。たくさんの方、ありがとうございました。